

京都教区第二一部

靈鹿山

行願寺



①本堂 ②御本尊御前立 ③格天井
④七福神 ⑤鐘楼 ⑥境内の蓮

京都教区第2部 靈鹿山 行願寺

住 所／〒604-0991 京都市中京区寺町通竹屋町上る
行願寺門前町17

電話番号／075-211-2770

当山は、靈鹿山行願寺と号し、寛弘元年（一〇〇四）に一条天皇の勅願により建立された。御本尊は開基行円上人が夢告を受け賀茂の靈木を彫ったと伝わる千手觀世音菩薩。戦乱や火災でいくたびも焼け、場所を替えつつも、人々の信仰によつて、一条通りより現在の地に再建され、再建された本堂は建築年記文化十二年（一八一五）の棟札が見つかり京都市文化財に指定された。

また、本堂外陣の格天井には極楽淨土を現す花鳥の彫刻が施されている。

境内には日本最古都七福神めぐりの寿老神堂、行円上人が夢告を受け御本尊を彫る靈木をいただいた賀茂の明神を祀つた五輪塔、京都市文化財に指定されている鐘樓等、お堂が並ぶ。